



ハンディがある仲間が働くお店

ちいろば

発行：NPOちいろば
 東京都多摩市東寺方 1-16-3
 電話：042-372-3015
 ホームページ：
<https://www.chiiroba.tokyo>
 MAIL：chiiroba@chiiroba.tokyo

心配な空模様も吹き飛ばす大盛況！ ちいろば祭りレポート

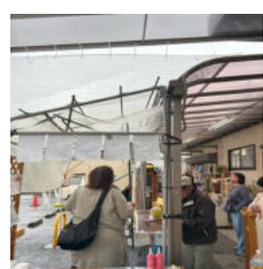


▲初出店 大判焼きSUN

イベント当日の朝、雨、雷予報でお客さんが来てくれるのか不安を抱えながらの準備でしたが、うどん、ポップコーン、クリームソーダー、綿菓子とみんなで楽しもう！と準備を行いました。

今回は大判焼きSUNさんがキッチンカーで出店してください、とても可愛い太陽&亀型の大判焼きも今回のちいろば祭りの目玉のひとつでした。

温かいうどんも、とても好評で、思っていたよりも沢山のお客さんが来て食べてくださり、クリームソーダーに乗っているさくらんぼを喜んでくれたり、久しぶりに食べる綿菓子を懐かしむお客様がいたり、お天気が気にならない、とてもうれしい一日になりました。



▲雨の中ご来店ありがとうございます
ございました。

上と右の写真2枚のご提供ありがとうございます！Tさんの写真は、活動の様子を伝える上でとても役立っています。

次回も利用者さんみんなが楽しんで参加でき、お客様に喜んでもらえるようなイベントを開催出来たらと思います。

(文責 職員 N)



▲店舗外のは彼らがきれいにしたものが安く販売しています

私たちの取り組みと 心をこめ細部まで

私たちのお店では、お客様に「お気に入りの一点」を見つけていただくため、障がいを持つ方々が活躍しています。彼ら

の仕事は、単に商品を並べるだけではありません。一つひとつの中古商品を次のお客様に届けるという、非常に大切な役割を担っています。具体的には、持ち込まれた中古品(雑貨)を、丁寧に点検・

清掃します。商品の素材や状態を見極め、適切な道具や方法で汚れを拭き取り、細部まできれいにする作業は、集中力と手先の器用さが求められます。ほこりをふき、くすみをなくすことで、商品

ていねいな点検と清掃で ふたたび使える家電に

ちいろばの小型家電は障がいがある方々が生まれ変わらせるお仕事をしています。さまざまな道具を器用に使いこなし、一つひとつの小型家電を丁寧に点検し、きれいに

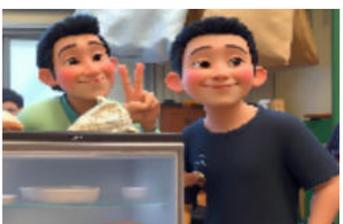
清掃します。故障がないか、安全に使えるかを細かくチェック。そして、きれいになった小型家電は、お店の棚にきれいに並べられ、お客様の元へと旅立っていくのです。



▲すみずみまで点検は疲れる仕事です

彼らの手によって、たくさんのお客さんが生まれ変わり、資源を大切にすることが育まれています。

(文責 千穂)



▲店舗前にプラスチック商品丁寧にみぎました

は見違えるようにきれいにします。その後、商品を商品棚へ丁寧に陳列します。どこに何を置けばお客様が「これだ！」と喜んでくれるかを考えながら、一つひとつの商品を最適な場所に配置していく地道な作業ですが、その積み重ねがお店全体

今後の予定

7月 July						
日	月	火	水	木	金	土
29	6/30	1 回収日	2	3 回収日	4	5 回収日
6	7	8 回収日	9	10 回収日	11	12 回収日
13	14	15 回収日	16	17 回収日	18	19 回収日
20	21 休み	22 回収日	23	24 回収日	25	26 回収日
27	28	29	30	31 回収日	8/1	2 回収日

8月 August						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	7/31 回収日	1	2
3	4	5 回収日	6	7 回収日	8	9 回収日
10	11	12	13	14	15	16 回収日
17	18	19 回収日	20	21 回収日	22	23 回収日
24	25	26 回収日	27	28 回収日	29	30
31	9/1	2 回収日	3	4 回収日	5	6

9月 September						
日	月	火	水	木	金	土
8/31	1	2 回収日	3	4 回収日	5	6 回収日
7	8	9 回収日	10	11 回収日	12	13 回収日
14	15 休み	16 回収日	17	18 回収日	19	20 回収日
21	22	23 休み	24	25 回収日	26	27 回収日
28	29	30 回収日	10/1	2 回収日	3	4 回収日

● 7月 21日(月) 海の
● 8月 11日(月) まで
● 9月 15日(金) まで
● 9月 23日(火) 秋分の日
● 9月 15日(月) 敬老の日
● 9月 23日(火) 秋分の日



休業日のお知らせ

の魅力となり、お客様の喜びへと繋がっています。障がいを持つスタッフは、その丁寧さや集中力を存分に発揮し、商品の品質向上に大きく貢献しています。彼らが日々真剣に取り組む姿勢は、お店の雰囲気をも明るくし、他のスタッフにも良い影響を与えています。私たちの店は、彼らの存在によって、より温かく、心ももった場所になっています。

(文責 千種)

「企業」としての「ちいろばの家」の挑戦
一九八九年、「ちいろばの家」はボランティアから事業体へと転身し、現在の会長がその事業主となりました。障害者雇用促進法の助成金制度を活用するため、多くの障害者を雇用し、「企業」としてスタートを切ります。

この時、「ちいろばの家」では障害の有無に関わらずスタッフ全員が同一賃金という画期的な仕組みを採用しました。これは、当時の福祉的労働の常識であった低賃金とは一線を画すものでした。現会長は「理念がないから巻き込まれた」と語るものの、この同一賃金は、障害のあるスタッフを「利用者」ではなく、共に働く対等な「同僚」と捉える「ちいろばの家」独自の障がい者雇用を作る上



(文責 千種)

で重要な役割を果たしました。同一賃金という仕組みは、スタッフ一人ひとりが「共に働く」ためにどうすれば良いかを考え、障害によってできることが違うスタッフ同士が力を合わせる原動力となりました。単なる給与体系ではなく、「働く場を創る」ことで、障害のある人もない人もお互いに協力し、共に働く関係性を築くための揺るぎない一歩となったのです。

つづく

三寄付別川井をう三をいまは

皆様からの寄付金は、利用者の方々と共に清掃・修理を行い、販売収益を運営費と利用者の工賃に充てさせていただいております。今後も変わらぬご支援をよろしく願います。ちいろばへの多大なるご支援、心より感謝申し上げます。

● 回収件数	276	件
● お持込件数	2794	件
● 宅急便件数	18	件

(2025年3月)
2025年5月 累計
寄付品の送り先
〒20610003
東京都多摩市東寺方1-16-3

ちいろばの家 まで。

「寄付への感」と活用について

● 書き損じはがきや使わなくなった切手を寄付をお待ちしております。